



広辞苑を語る
広辞苑で遊ぶ
～女子大生が広辞苑で
POPを作ってみた～
参加レポート



2018年11月24日(土)に丸善名古屋本店で開催された第200回丸善ゼミナール『広辞苑を語る、広辞苑で遊ぶ～女子大生が広辞苑でPOPを作ってみた～』に図書館サポーターちえりっぷが参加しました。『広辞苑』の編集者のおひとりである、岩波書店辞典編集部副部長平木靖成さんによるご講演と、平木さんと金城学院大学&名古屋女子大学の図書館サポーターによるトークセッションで会場が盛り上がりました！



今回のイベントは2018年5月に金城学院大学図書館サポーターLiLianのみなさんと開催したPOP交流会で『広辞苑』のPOPを作成したことに平木さんが興味を持って下さったことがきっかけで開催されました♪



ちえりっぷの感想

辞典と事典の違いを改めて実感することができました。色々な辞典・事典を引いて意味の違いを調べてみたいと思います!また機会があれば平木さんとお話してみたいです。
(短期大学部1年)

はじめから辞書の編集に強い興味を持って就職されたと思っていましたが、実際にお話を聞いて、就職では迷っていたことにとても驚きました。私たちが作ったPOPに興味を持って頂けたこと、そしてそのPOPを作った経緯を平木さんに伝えられたことがとても嬉しかったです。
(文学部4年)



平木さんの講演で、普段からよく使っている言葉が実は逆の意味であったり、本来の意味とは大きく異なっていたりするということがとても興味深く感じました。また、“広辞苑を改訂する→言葉が定着する”のではなく、言葉が定着するから改訂されるというのはとても納得ができました。
(家政学部3年)

質問に答えてくださる中にも本好きとして共通点があってとても嬉しかったです。また、三浦しんさんが好きなことやPOPの“桜島大根”に注目して頂けたことがとても嬉しかったです。今までは、現文・古典等で何かを調べることに限定して考えていましたが、調理においても使えることがあって、これからもっと活用していきたいと思いました。
(家政学部3年)



イベント後、LiLianのみなさんと一緒にジュンク堂書店ロフト名古屋店の広辞苑コーナーの見学に行きました。11月末日まで栄の丸善&ジュンク堂書店の両方で今回の『広辞苑』POPを展示していただいています。

